

汚染水・タンク対策本部活動状況

< 参考資料 >
平成26年3月26日
東京電力株式会社

1. 汚染水・タンク対策本部の目的と体制

- ① タンクからの汚染水漏えいにより、タンク管理が不十分であったことが明らかになったことから、緊急かつ抜本的な強化を図る。
- ② 汚染水の港湾への流出防止対策や汚染水抑制対策が後手に廻る状況を解消し、解析・リスク管理の強化と中長期を含めた対策を加速化する。
- ③ 全社的なリソースの投入はもとより、国内外の知見、提案、ノウハウを積極的に導入する。

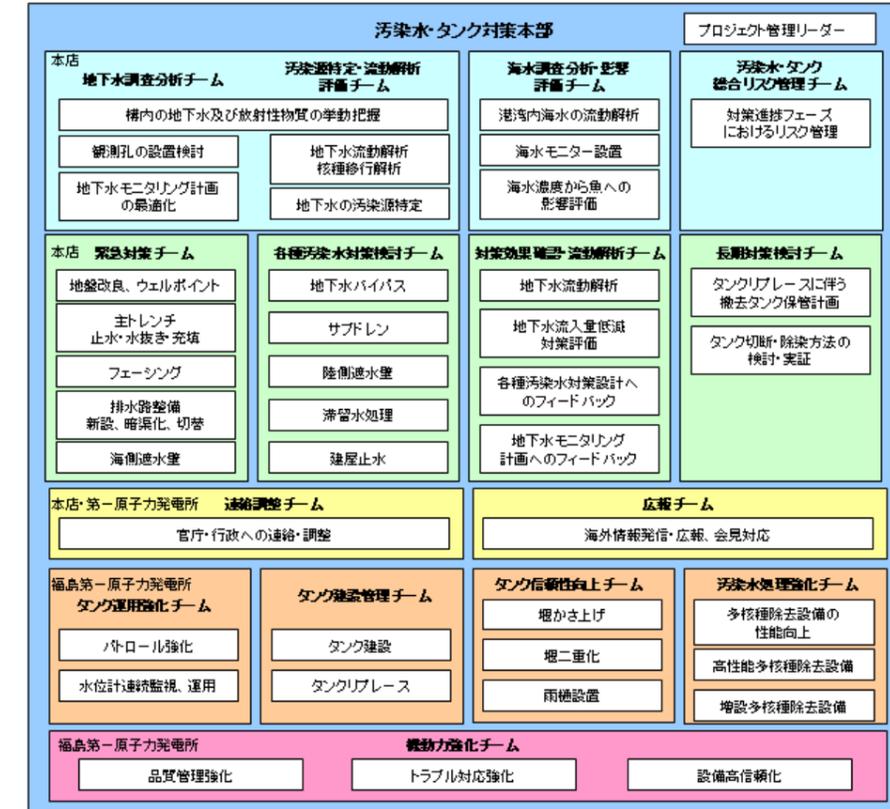
2. 反省点(振り返り)

- ① タンクの監視を強化したが、タンク水位上昇などの設備からのサインを溢水防止に繋げられなかった。
- ② 設備トラブルが引き続き発生しており、リスク抽出が十分といえる状況ではない。
- ③ 現場の労働環境改善に取り組んでいるが、依然として厳しい環境下での作業が続いている状況である。

3. 新体制での取組み

- ① 安全意識の一層の向上と現場力の育成強化
 - ・ 事実や関連状況を徹底的に解析・評価できる力
 - ・ 計画・対策の策定と実践実行できる力
 - ・ 継続的な改善改革によって安全・品質を高めていける力
- ② 徹底したリスクの洗い出しと組織全体での対策実践・定着
- ③ 現場作業者の声をより反映した労働環境改善の仕組み作り

4. 各チームの活動状況



	チーム名	活動項目	進捗状況	課題
1	地下水調査分析チーム	・地下水測定データ取得	新たなストロンチウム分析手法を導入済み、全ベータ測定方法の見直し検討中	ストロンチウム分析の迅速化・精度向上
		・地下水放射性物質の流動解析	地下水の挙動解析実施済み、護岸付近の地下水中放射性物質挙動を詳細解析中	解析の妥当性を判断した上で、解析結果の対策検討への適用
2	海水調査分析・環境評価チーム	・海水の流動解析	海水挙動および海水中放射性物質挙動の解析実施中	モニタリングの効率化
		・海水中放射性物質濃度等のモニタリング	モニタリング実施中	
		・港湾外海水モニタの設置	現地状況調査を実施済、モニタの詳細設計中	
3	汚染水・タンク総合リスク管理チーム	・汚染水漏えいリスクマップを作成	現状リスク評価済み(汚染水処理対策委員会へ提示済み)	対策の進捗に応じたリスクマップの更新
		・追加対策(予防的・重層的対策)の策定	国(原子力災害本部)にて対策決定	状況変化等に対応した対策の追加・見直し
4	緊急対策チーム	・4m盤地盤改良	地盤改良および4m盤フェーシング:工事中 ウェルポイント:1~2号機間で稼働中、2~3号機間で一部稼働中	4m盤山側地盤改良の実施要否
		・建屋東側トレンチ対策(主トレンチ・分岐トレンチ)	浄化実施中(2号機・3号機)、凍結止水工事中(2号機)	凍結止水後の効果確認(地下水流入量)
		”(電源ケーブルトレンチ)	電源ケーブルトレンチ:H26.3に閉塞完了(2号機・3号機・4号機)	
		・排水路(暗渠化)	B・C排水路暗渠化:H26.2に工事完了	排水路規模を上回る豪雨等に備えた危機管理対策の検討
		”(C排水路末のルート変更)	排水ルート:工事中	地盤改良追加に伴う工程調整、本設流末部の排水先検討
		・海側遮水壁	工事実施中(鋼管矢板:港湾内395/404本、港湾外190/190本設置済み)	地下水ドレンの運用

汚染水・タンク対策本部活動状況

4. 各チームの活動状況

	チーム名	活動項目	進捗状況	課題
5	各種汚染水対策検討チーム	・地下水バイパス設備の設置	設備設置完了、運転開始に向け関係箇所への説明活動中	適切な説明の実施
		・サブドレン設備の復旧	既設ピットの水質測定中、新設ピット掘削中(8本/13本完了)、浄化設備建屋工事実施中	水質測定結果等を踏まえたサブドレン復旧後の具体的な運転計画の立案
		・陸側遮水壁の設置	実証試験実施中(凍結・リチャージ)、現地準備工事中	本工事の着実な実施
		・滞留水の処理	R/B等からの排水設備の設置に向けて、排水設備の系統設計を実施中	高線量であるポンプ設置箇所への線量低減対策
		・建屋の止水	1号機・HTI建屋の止水工事実施中	建屋トレンチ接続部残り箇所(高線量)の流入調査・止水方法、建屋間ギャップ止水方法の立案
6	対策効果確認・流動解析チーム	・解析モデルによる地下水流入低減効果予測	各種対策の効果を評価済み。「広域的なフェーシング」または「追加的な遮水とその内側のフェーシング」について具体策の検討を実施中	具体策の早期決定と実施
		・地下水調査	各透水層の水位・水質等確認中、調査データのモデルへの反映改善予定	精度の高い採水方法の検討
7	長期対策検討チーム	・タンクリプレース後の撤去タンク処理	撤去タンクの切断・除染方法検討中	切断・除染工法の実証、保管場所の確保
8	タンク運用強化チーム	・漏えい監視(パトロール)	パトロール方法見直し済み、適宜見直し・運用中	・タンク水位警報等が発生した際の的確な運用(手順書整備、教育、ダブルチェック) ・タンク漏えい防止に向けた更なる安全対策の実施。(汚染水貯蔵水位の見直し等)
		〃 (水位計設置)	・タンク水位計設置完了(フランジタンク:355基設置工事、溶接タンク86基設置工事) ・タンク漏えい防止に向けた警報設定・インターロックの見直し実施中	
		〃 (雨水の移送運用等)	各種要領作成完了	
9	タンク建設管理チーム	・タンク建設	・タンク増設工事実施中(J1エリア:設置中(約50%設置完了)、J2・J3・G7等:順次4月より設置予定) ・リプレースタンクについてはDエリア契約済み	・総貯蔵容量80万m ³ の早期達成に向けたタンク建設工事、リプレース工事の前倒し、増設 ・リプレース準備工程(残水処理、タンク撤去など)の短縮
10	タンク信頼性向上チーム	・タンク周囲の堰嵩上げ等	嵩上げ(鋼板):設置完了、堰高さ最適化・外周堰整備・堰内水浸透防止:工事中	工程管理
		・タンク上部雨樋設置	高汚染水エリア(フランジタンク)への設置完了(5エリア)、他エリア雨樋設置中(11エリア完了)	さらなる雨水抑制方法の立案・実施
		・側溝放射線モニタ	側溝放射線モニタ設置済み、運用方法の検討中	モニタリング結果の活用方法の検討
11	汚染水処理強化チーム	・多核種除去設備(既存)の運用	腐食対策完了、ホット試験(汚染水処理)実施中 放射性物質除去性能向上検討中	設備不具合を踏まえた改造工事による安定運転の継続
		〃 (国公募事業)の設置	掘削・地盤改良工事実施中	設置工事工程短縮・稼働率向上等
		〃 (増設)の設置		
12	広報チーム	国内外への情報発信の強化	「受け手に配慮したリスクコミュニケーション」をより強く意識し、特に風評被害対策の観点からも海外への情報発信を抜本的に強化・改善中。HPの改善、大使館への説明等を実施)	・在京大使館の1F視察案内等、更なる関係強化 ・動画等分かり易いコンテンツの充実
13	機動力強化チーム	現場・現物・現実を重視した横串機能	品質管理強化・トラブル対応強化・設備高信頼化に対する改善計画を取りまとめ済み	継続的な改善の実施